

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	入居者の排泄対応などの際には、プライバシーに配慮して対応ができるようになってきているが、まだ入居者に対する言葉掛けや、落ち着かない時に対応する際の対応に配慮が欠ける時がある。昨年同様課題としていく。	入居者の尊厳・プライバシーに配慮した声掛けや対応をする。入居者は日々グループホームで生活を送っているということを常に念頭に置き日々の業務・対応にあたる。	職員同士話をするときは、入居者がそこで生活していることを考え、場所を変える・聞こえないように話す等配慮して話をする。入居者への声掛けは、ご本人の言動を否定するような声掛けをせず、なぜそのような言動をしたかをよく考え、ご本人の意図に合った声掛けができるようにしたい。	12ヶ月
2	39	業務に追われてしまい、入居者の身だしなみに対して配慮が足りない。	入居者はただ生活しているだけでなく、その人らしく過ごせるよう身だしなみやおしゃれにも配慮していく。	起床時には着替えの支援だけでなく、整髪、目やなどにも注意し、気持ちよく朝食が取れるよう洗顔・整髪などの支援をする。洗顔できない入居者については、濡れタオルでの整容を支援する。また食事の食べこぼしにより衣類が汚れた際は速やかに更衣し、きれいな衣類で過ごしていただく。	12ヶ月
3	23	認知症の症状により、特定の入居者へのかかわりが多くなってしまい、認知症の症状が軽い入居者へのかかわりが少なくなっており、精神的なストレスとなっていることがある。	ボランティアの方の来所時に、積極的にかかわってもらったり、職員の意図的なかかわりを増やしていく。	職員はかかわりの少なくなってしまうような入居者に対して意図的にかかわるようにする。(たとえば一緒にお茶を飲む・買い物に同行してもらう・散歩の誘うなど) またレクリエーションや会話の中でも個別に名前を呼び、意識して個人と関わるようにしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。